

金沢区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

宮川水系河川：宮川 侍従川水系河川：侍従川

この洪水ハザードマップは、宮川水系・侍従川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは
「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



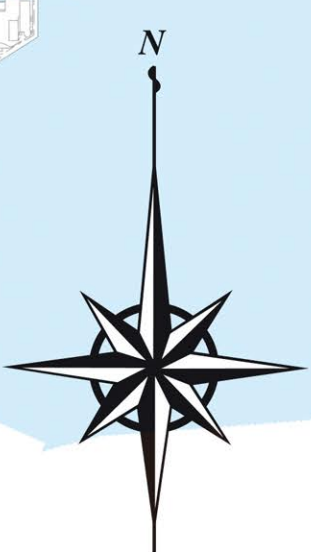
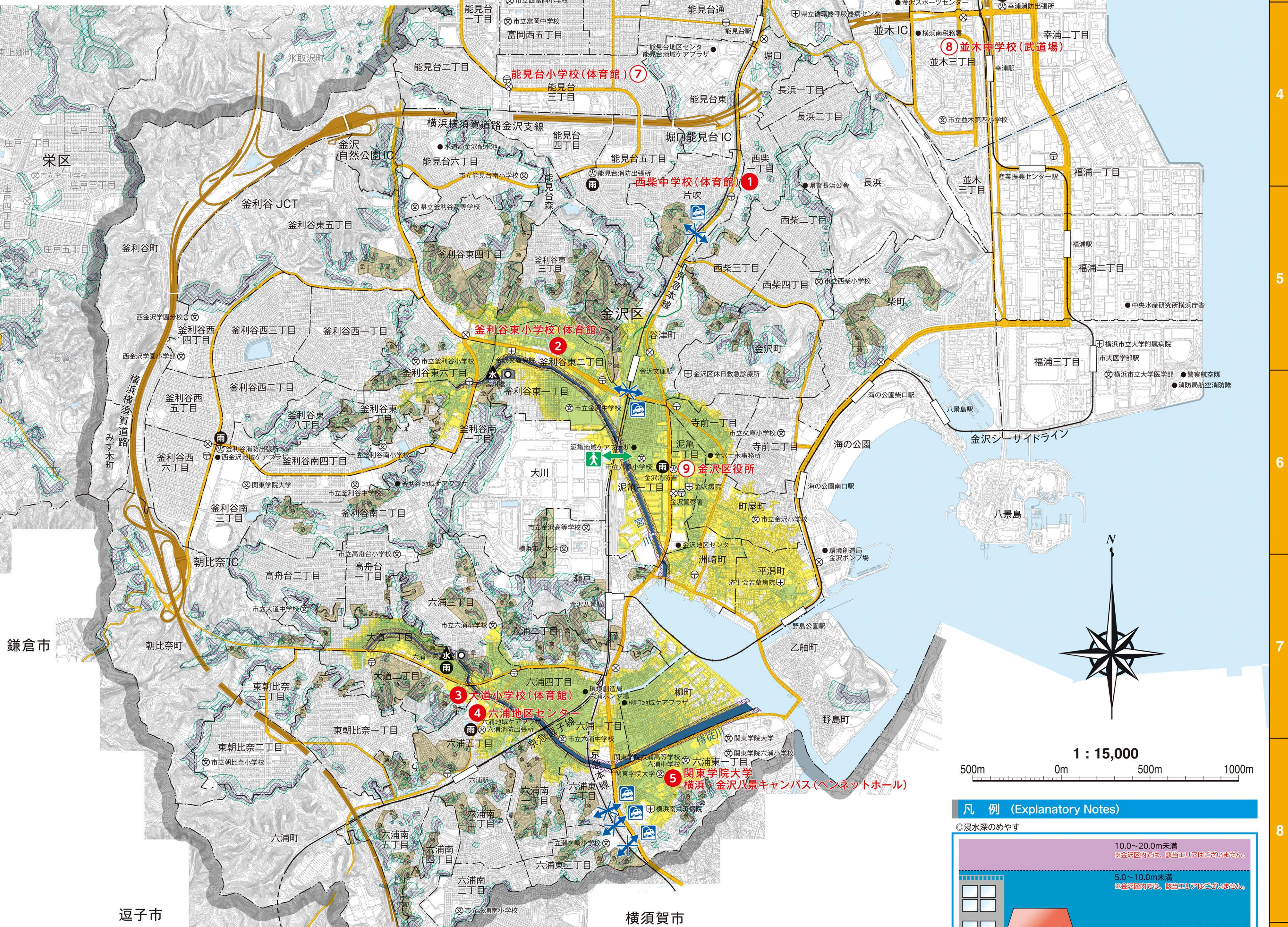
洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この洪水浸水想定区域※1の範囲やその深さは、想定最大規模の降雨(24時間で宮川317ミリ、侍従川319ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。※2

なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

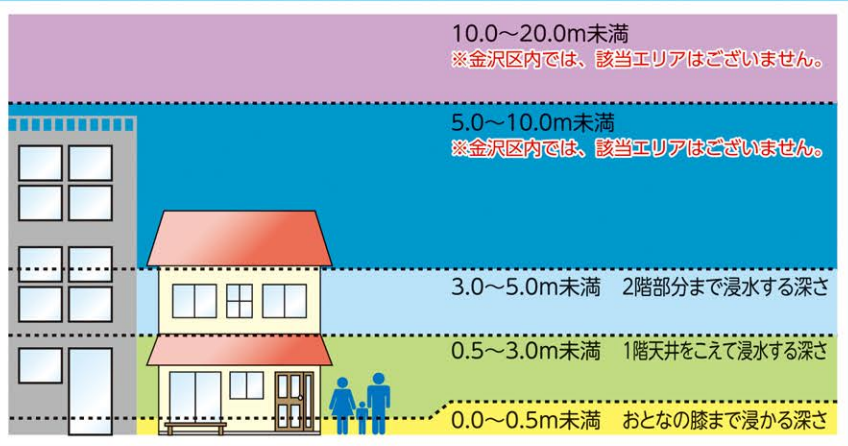
- ※1 神奈川県ホームページ
(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/t4i/cnt/13747/p1039490.html>)
- ※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



1 : 15,000
500m 0m 500m 1000m

凡 例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす



※内水ハザードマップの浸水深とは、浸水前後の差が異なります。

◎避難する際に注意する箇所

河川浸水により家屋が倒壊・流出するおそれがある区域の目安	河川浸水により家屋が倒壊・流出するおそれがある区域の目安
※家屋の構造、強度特性や隣接対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。	※家屋の構造、強度特性や隣接対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (通行すると危険なため、冠水の通行は控えてください)	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所 (通行すると危険なため、冠水の通行は控えてください)
崩壊により相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、崩壊が助長・誘発されないようにするために切土・盛土などの一定の行為を制限する必要がある土地です。	崩壊により相当数の居住者等に危害が生ずるおそれがある急傾斜地と、崩壊が助長・誘発されないようにするために切土・盛土などの一定の行為を制限する必要がある土地です。
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、崩壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、崩壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の消滅、警戒態勢の維持等が行われます。	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の消滅、警戒態勢の維持等が行われます。

都県界	高速道路・有料道路
市区界	主要道路
町丁目界	避難場所
J R線・駅	雨量観測所
私鉄線・駅	水位観測所
市営地下鉄線・駅	河川監視カメラ
歩道橋	避難を妨害する鉄道や高速道路、バイパスのような構造物を横断するために有効な歩道橋や陸橋を記載

横浜市水防災情報

横浜市内外の河川の水位やカメラ画像をリアルタイムで公開しています。
スマートフォンでは現在地機能で近くの河川情報を取得できます。



想定条件

宮川水系：24時間で317mmの降雨

侍従川水系：24時間で319mmの降雨

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建計第9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ (地図レベル2500) により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	神奈川県 宮川水系浸水想定区域図 (令和2年4月指定) 侍従川水系浸水想定区域図 (令和2年4月指定)
急傾斜地崩壊危険区域	横浜市建築局 急傾斜地崩壊危険区域 (令和5年12月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域 (令和5年12月現在)
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域 (令和5年12月現在)

風水害時における避難場所について

- ◇避難する際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。
- ◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
- ◇すでに浸水が始まっている場所などには、無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

金沢区では、風水害時の避難場所として、下記の施設を優先して開設します。

<横浜市南部に土砂災害警戒情報が発表された場合>

西柴中学校、金沢谷東小学校、大道小学校、六浦地区センター、関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス (ペンネットホール)

No.	避難場所	所在地	位置
1	西柴中学校 (体育館)	西柴1-23-1	E-4
2	金沢谷東小学校 (体育館)	金沢谷東2-12-1	D-5
3	大道小学校 (体育館)	大道2-3-1	C-7
4	六浦地区センター	六浦5-20-2	C-7
5	関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス(ペンネットホール)	六浦東1-50-1	D-8

<特別警戒の発表が想定される場合>

上記5か所に加えて、富岡小学校、能見台小学校、並木中学校、金沢区役所

No.	避難場所	所在地	位置
6	富岡小学校 (体育館)	富岡西7-13-1	D-3
7	能見台小学校 (体育館)	能見台3-32-1	D-4
8	並木中学校 (武道場)	並木3-4-1	F-4
9	金沢区役所	泥亀2-9-1	D-6